

## 第1回 環境調査ワーキンググループ会議

日時：平成17年5月24日（火）18:00～19:00

場所：役場第一会議室

参加者：梶本重幸、宇藤安貴子、日沢一雄、山本晴美、宮村清隆、坂本廣、坂上實、宮村純吉、畠山勉  
計9名（順不同、敬称略）

提供資料：1 2005.5.15 県境産廃いわてだより第12号  
2 2005.5.22 東奥日報社日報新聞記事「県境産廃－浸出水浄化へ施設稼働－」  
3 （参考資料）田子町としての「原状回復」などについての考え方

### ■ 討議事項：活動方針と今後の調査検討項目

撤去に伴う事業の安全性について、及び現場とその周辺を含む環境の安全性を調査、確認する。

### ■ 討議内容と決定事項

#### 1 活動方針

一次撤去マニュアルや基準値のみで現場の安全性を判断するのではなく、自らの目で実際に見ること。そして現場内だけでなく、現場周辺の状況についても知ること。

#### 2 環境調査ワーキンググループでの調査検討項目

設置時の調査検討項目を核に、

##### (1) 67万立方メートルの廃棄物の撤去が確実にできる目途の調査

- ・県の考え方をしっかり知ること。
- ・月に1度行われる全体工程会議は現場状況を知る上では重要。できる限り出席したい。

##### (2) 現場内の作業状況及び周辺環境のモニタリング調査

- ・現場内の作業が安全に進められているか、その状況を把握する。
- ・現場からの浸出水が飯豊に出る箇所などの沢が数カ所あり水量も多いことから、動物や植生を含めて調査をする必要がある。
- ・和平高原の敷地内の池の水が汚れた原因は何なのか、産廃の影響なのかを研究すべき。
- ・風評被害が最も恐れるべきことであり、そのためにも現場及びその周辺の現状を把握する。

##### (3) 安全性の考え方・判断方法

- ・安全性を測る目安として、やはり環境基準値を準用するしかないのではないかという意見と、基準以下でも汚染されている危惧があるという双方の意見。今後の要検討課題。

##### (4) 県・町行政と町民との連携について

- ・県が実施した道路の検討内容などの情報伝達がうまく機能していないので連携が必要。

### ■ 要請要望事項・資料提供要求など

- ・撤去するにあたっての作業の目途（撤去量、期間等）を県から明確に提示してほしい。
- ・県が実施する環境モニタリング調査の回数を、年4回より増やす方法、方向を三浦委員長のアドバイスなどから検討してほしい。
- ・搬出経路沿いに待避所を設けるとともに拡幅する要望を県に伝えるべき。

### ■ 次回開催予定及び日程

現地調査を行う。（日程及び時間帯については今後県と相談）